

『命のバトン』を確かにつなごう！

～今だからできることを、こんな時だからできることを～

保護者の皆様へ

新型コロナウイルスの感染が広がり、思ってもみなかった事態となっています。学校も安倍首相や大村愛知県知事の緊急事態宣言などを受け、3月2日から春休みまで臨時休校。卒業式と通知表等を保護者の方に手渡しました。さらに入学式と新学年の教科書配付をして、再び4月8日から19日まで臨時休校。事態の悪化に伴い、5月31日まで休校を延長することになりました。学校は4月24日に学習課題等配付日を設け、小学校は保護者の方に、中学校は生徒本人に課題やプリントを手渡し、休校中の諸注意等を手短に行う予定です。

さて令和2年度の津島市教育委員会は「自分の命は自分で守る」という取組を考えていました。防災学習の目標として考えていましたが、新型コロナウイルスという悪疫から「自分の命を守る」ことになりました。「3密(密閉・密集・密接)を避ける」「うがい手洗いの励行」「不要不急の外出の自粛」など、リスクマネジメント(危機管理)を日々家庭で実践する機会となっています。今だからこそできることを家族の人たちと協力し、自分の命、自分につながる命を守る機会にしてほしいと思います。そして、子どもたちは現在の危険な状態を脱し、次の世代に命のバトンを確かにつないでほしいと思います。

気が付けば3月～5月をあわせると夏休よりも休みの時間がはるかに長くなりました。あらためて家庭学習の大切さが分かってきました。どの教科の学習においても、2種類の学習を組み合わせたいと思います。一つは漢字や計算、都道府県名の暗記など反復繰り返す基礎・基本の学習。こんな時だから、毎日短時間でよいので繰り返してほしいと思います。もう一つは子どもたちが調べたいと思ったことをとことん追究する課題研究の時間。時間に縛られることなく、納得できるまで調べてほしいと思います。この二つの学習に付け加えるならば、毎日時間を決めて読書をする。そして自分の1日を振り返って日記を書くこと。今だから、こんな時だから、家庭学習で、このような学習に取り組ませたいと思います。また体力を維持するため、家でラジオ体操(テレビ体操)やダンスなどの番組を活用し、体を動かしてくださいね。

家庭での役割分担として、子どもたちにお手伝いでなく当番としての仕事を与えてください。ゴミ出し、お風呂の浴槽清掃、食器洗い、部屋の後片付けや清掃、トイレ掃除など、成果がよく見える仕事に参加させてほしいと思います。

津島市内の学校は5月31日まで閉校します。新型コロナウイルスの感染対策は、引き続き予断を許さない状況となっています。今後の推移によっては、さらに迅速で柔軟な対応が迫られることも予測されます。津島市教育委員会は、市危機管理対策本部の基、市小中学校長会と連携・協力し、この対応にあたっていきます。今後とも保護者の皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ウイルスに負けてたまるか春疾風

令和2年4月24日

津島市教育委員会

教育長 浅井 厚 視